

[トヨタ] ABS リニア弁オフセット学習/ブレーキストロークセンサ 0 点学習/ヨーレートセンサ・G センサ 0 点取得 (例: プリウス ZVW50)

注意

初期学習(リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習、システム情報およびヨーレートセンサ&G センサ 0 点取得)の記憶値は、1 度記憶されるとデータが消去されるまで取り直しは行われません。部品交換時は記憶値を消去後に初期学習を行います。

概要

下記部品を交換した場合は、所定の作業を行う必要があります。

| 交換部品 | 必要作業 |
|--|---|
| ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ) | <ul style="list-style-type: none"> ・エア抜き実施 ・バックアップメモリ消去 ・リニア弁オフセット学習 ・ABS 保持弁学習 ・ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習 ・システム情報記憶 ・ヨーレートセンサ&G センサ 0 点取得 |
| ブレーキアクチュエータ ASSY | <ul style="list-style-type: none"> ・エア抜き実施 ・バックアップメモリ消去 ・リニア弁オフセット学習 ・ABS 保持弁学習 ・ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習 ・システム情報記憶 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキペダルストロークセンサ ・ブレーキペダル | <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップメモリ消去 ・リニア弁オフセット学習 ・ABS 保持弁学習 ・ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習 ・システム情報記憶 |
| ヨーレートセンサおよび G センサ (エアバッグコンピュータ ASSY) | <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーレートセンサ&G センサ 0 点消去 ・ヨーレートセンサ&G センサ 0 点取得 |

- ・ブレーキペダルストロークセンサ、ブレーキペダル、ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)またはブレーキアクチュエータ ASSY のいずれかを交換した場合は“バックアップメモリ消去”実行後に、リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習およびシステム情報記憶を行います。

注意：

- ・ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)またはブレーキアクチュエータ ASSY のいずれかを交換した場合は、“ブレーキシステムエア抜き”手順内にて自動的にリニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習およびシステム情報記憶が実施されます。

- ・リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習およびシステム情報記憶を正常に完了させるため、実施前に以下の項目を確認して下さい。

- 1.READY ON 時の補機バッテリー電圧が正常である。
- 2.ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)内のブレーキアクチュエータが高温になっていない。
- 3.ブレーキアクチュエータ ASSY が高温になっていない。

参考：

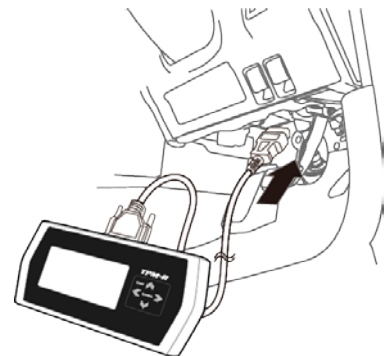
- ・ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)内のブレーキアクチュエータまたはブレーキアクチュエータ ASSY が高温になっている場合は、温度が下がるのを待ってからリニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習およびシステム情報記憶を行って下さい。


手順/操作

リニア弁オフセット学習値、ABS 保持弁学習値、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習値およびシステム情報記憶値消去

1.

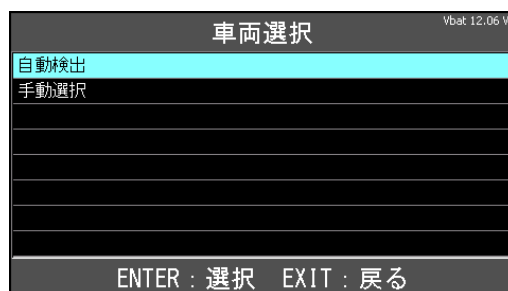
イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-R を車両に接続します。



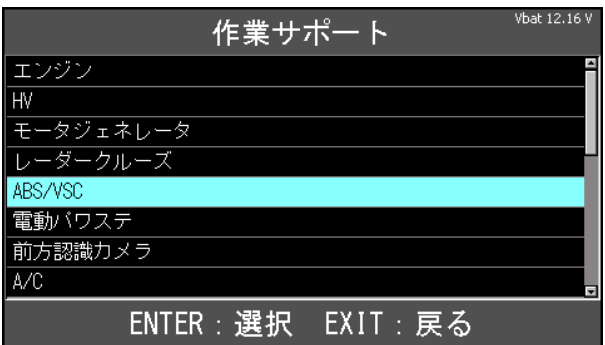
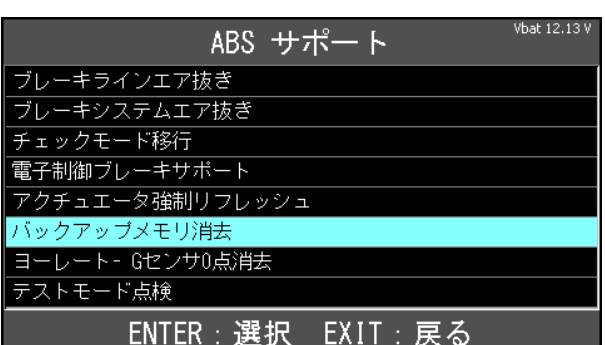


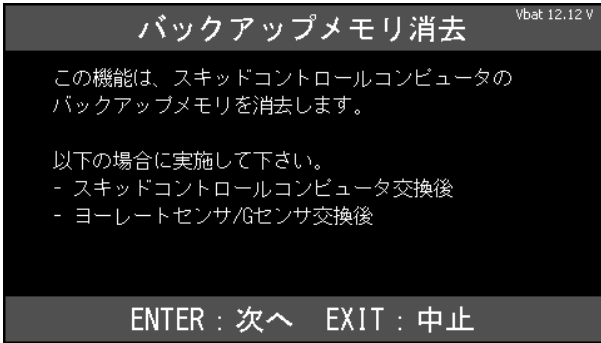
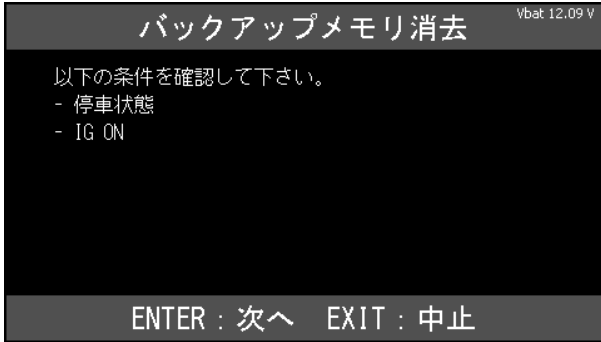
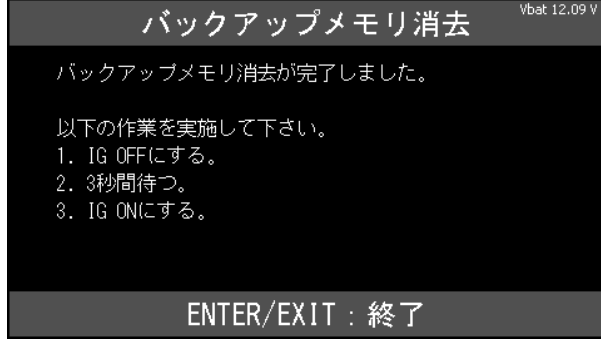
| <p>2.</p> | <p>シフト位置がPポジションであること パーキングブレーキがOFFであることを 確認し、イグニッションスイッチを ON にします。 (ブレーキペダルを踏まずに、 プッシュスタートスイッチを2回押します)</p> |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|--------|----|-------|----------|-----|------------|--------|----------|-------|----|---------|-----|--|------|--|-----|--|-----|
| <p>3.</p> | <p>『メーカー選択』画面から 〔国産乗用車〕 - 〔トヨタ/レクサス〕 を 選択して [ENTER] を押して下さい。</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> | メーカー選択 | | 国産乗用車 | トヨタ/レクサス | 輸入車 | 日産/インフィニティ | 国産トラック | ホンダ/アキュラ | OBDII | 三菱 | HV整備モード | スズキ | | ダイハツ | | マツダ | | スバル |
| メーカー選択 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国産乗用車 | トヨタ/レクサス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 輸入車 | 日産/インフィニティ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国産トラック | ホンダ/アキュラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| OBDII | 三菱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| HV整備モード | スズキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ダイハツ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | マツダ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | スバル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4.</p> | <p>『地域設定』画面から 〔日本〕 を選択して [ENTER] を押して下さい。</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>北米</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> </tr> <tr> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> | 地域設定 | 日本 | 北米 | 欧州 | その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 地域設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北米 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 欧州 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5.

『車両選択』画面から【自動検出】を選択して
[ENTER] を押して下さい。
検出された車両情報に間違いが無い事を確認して
[ENTER] を押して下さい。



| | | |
|-----------|--|---|
| <p>6.</p> | <p>『トヨタ メインメニュー』画面で 〔作業サポート〕 を選択して 〔ENTER〕 を 押して下さい。</p> |  <p>トヨタ メインメニュー Vbat 12.33 V</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート</p> <p>アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> |
| <p>7.</p> | <p>『作業サポート』から〔作業サポート(New)〕を 選択して〔ENTER〕を押して下さい。</p> |  <p>作業サポート Vbat 12.32 V</p> <p>作業サポート [New]</p> <p>作業サポート [Previous]</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> |
| <p>8.</p> | <p>車両搭載システム確認後、〔ABS/VSC〕を選択し 〔ENTER〕を押して下さい。</p> |  <p>作業サポート Vbat 12.16 V</p> <p>エンジン</p> <p>HV</p> <p>モータジェネレータ</p> <p>レーダークルーズ</p> <p>ABS/VSC</p> <p>電動パワステ</p> <p>前方認識カメラ</p> <p>A/C</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> |
| <p>9.</p> | <p>『ABS サポート』画面が表示されましたら、 〔バックアップメモリ消去〕 を選択 〔ENTER〕 を押して下さい。</p> |  <p>ABS サポート Vbat 12.13 V</p> <p>ブレーキラインエア抜き</p> <p>ブレーキシステムエア抜き</p> <p>チェックモード移行</p> <p>電子制御ブレーキサポート</p> <p>アクチュエータ強制リフレッシュ</p> <p>バックアップメモリ消去</p> <p>ヨーレート・Gセンサ0点消去</p> <p>テストモード点検</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> |

| | | |
|-------------------|---|--|
| <p>10.</p> | <p>この機能は、スキッドコントロールコンピュータのバックアップメモリを消去します。</p> <p>以下の場合に実施して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキッドコントロールコンピュータ交換後 ・ヨーレートセンサ/Gセンサ交換後 <p>表示内容を確認後、[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>バックアップメモリ消去</p> <p>この機能は、スキッドコントロールコンピュータのバックアップメモリを消去します。</p> <p>以下の場合に実施して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - スキッドコントロールコンピュータ交換後 - ヨーレートセンサ/Gセンサ交換後 <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> |
| <p>11.</p> | <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停車状態 ・ IG ON <p>条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>バックアップメモリ消去</p> <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 停車状態 - IG ON <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> |
| <p>12.</p> | <p>バックアップメモリ消去が完了しました。</p> <p>以下の作業を実施して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IG OFF にする。 ・ 3 秒間待つ。 ・ IG ON にする。 <p>実施後[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>バックアップメモリ消去</p> <p>バックアップメモリ消去が完了しました。</p> <p>以下の作業を実施して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IG OFFにする。 2. 3秒間待つ。 3. IG ONにする。 <p>ENTER/EXIT : 終了</p> |

「バックアップメモリ消去」を実行するとヨーレートセンサ&Gセンサの0点学習値も同時に消去されますが、そのまま次の作業を行って下さい。

注意 :

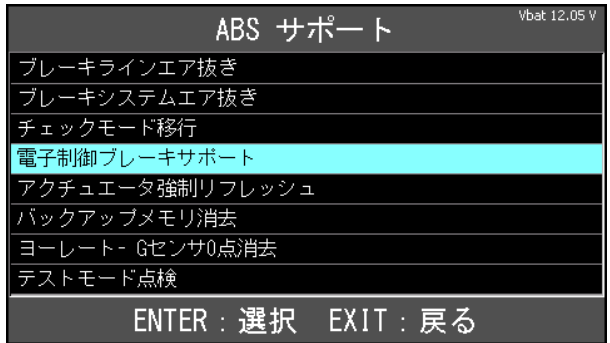
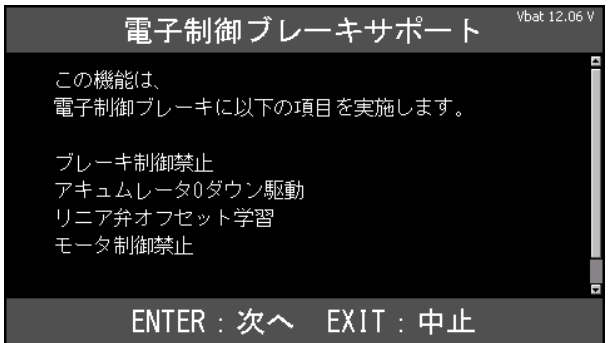
ヨーレートセンサ&Gセンサの0点が消去された後、シフト位置 P ポジションで IG ON のまま 15 秒以上経過するとヨーレートセンサ 0 点のみ記憶されます。
この状態で走行すると G センサの 0 点未補正異常を記憶し異常コードを出力します。

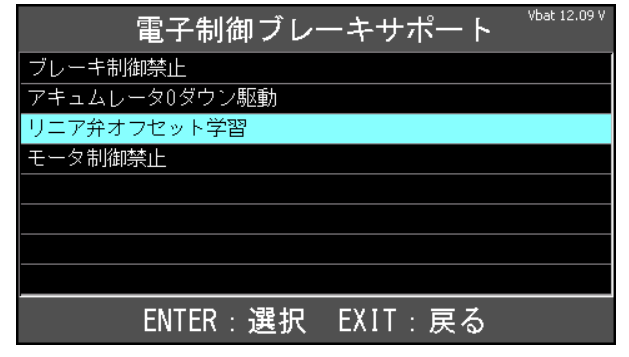
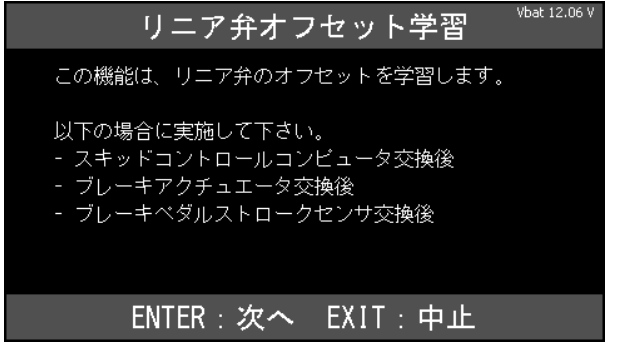
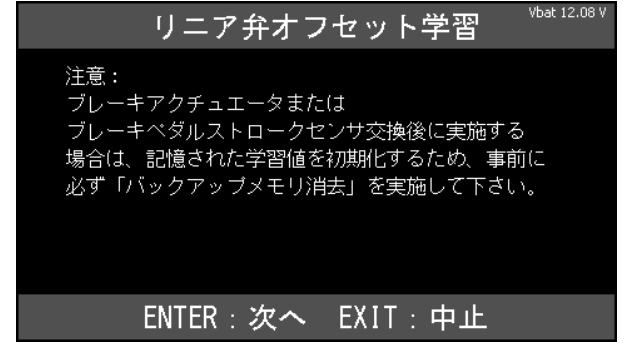
リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習 ブレーキペダルストロークセンサ0点学習およびシステム情報記憶実施

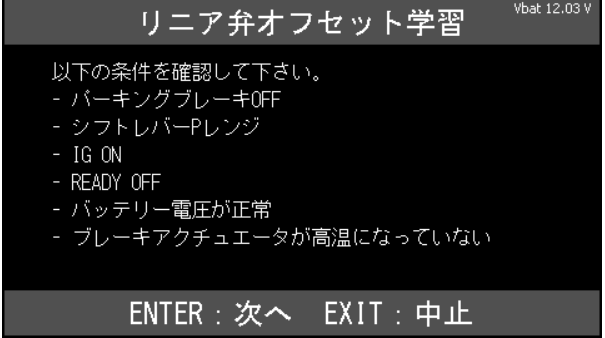
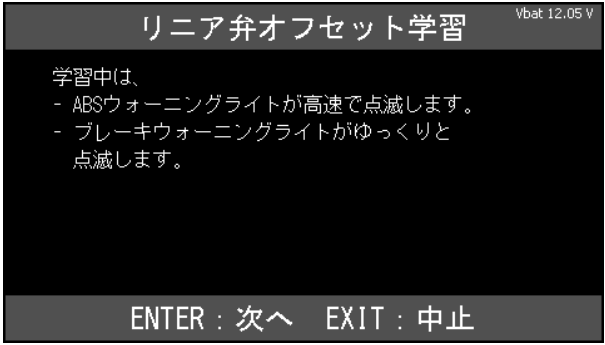
手順/操作

注意: パーキングブレーキを ON にしている場合、リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習及びシステム情報記憶を開始出来ません。
リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習及びシステム情報記憶中にパーキングブレーキを ON にした場合は学習が中断されてしまいますので操作を行わないで下さい。
学習が中断された場合、再度パーキングブレーキを OFF にする事で学習を再開します。

リニア弁オフセット学習値、ABS 保持弁学習値、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習値およびシステム情報記憶値消去の1~8迄進めて下さい。

| | | |
|-----------|---|--|
| <p>1.</p> | <p>『ABS サポート』画面が表示されましたら [電子制御ブレーキサポート]を選択し[ENTER]を 押して下さい。</p> |  |
| <p>2.</p> | <p>この機能は電子制御ブレーキに以下の項目を 実施します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ブレーキ制御禁止・アクيومレータ0ダウン駆動・リニア弁オフセット学習・モータ制御禁止 <p>表示内容を確認し[ENTER]を押して下さい。</p> |  |

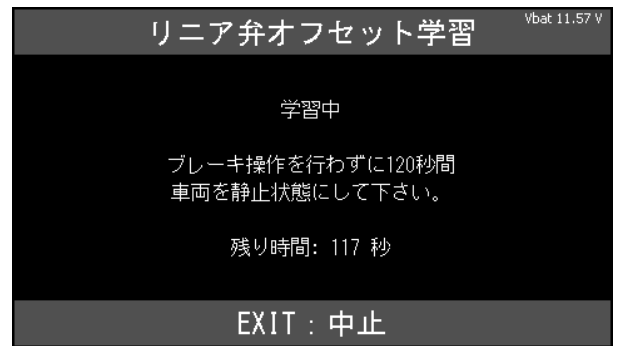
| | | |
|-----------|---|--|
| <p>3.</p> | <p>『電子制御ブレーキサポート』から [リニア弁オフセット学習]を選択し[ENTER]を 押して下さい。</p> |  |
| <p>4.</p> | <p>この機能はリニア弁のオフセットを学習します。 以下の場合に実施して下さい。 ・スキッドコントロールコンピュータ交換後 ・ブレーキアクチュエータ交換後 ・ブレーキペダルストロークセンサ交換後 表示内容を確認後、[ENTER]を押して下さい。</p> |  |
| <p>5.</p> | <p>注意： ブレーキアクチュエータまたはブレーキペダル ストロークセンサ交換後に実施する場合は 記憶された学習値を初期化するため、事前に必ず [バックアップメモリ消去]を行って下さい。 初期化をまだ行っていない場合は、リニア弁オフ セット学習値、ABS 保持弁学習値、ブレーキペ ダルストロークセンサ0点学習値およびシステム 情報記憶値消去 手順を参考に行ってください。 表示内容を確認後、[ENTER]を押して下さい。</p> |  |

| | | |
|------------------|---|---|
| <p>6.</p> | <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none">・パーキングブレーキ OFF・シフトレバーPレンジ・IG ON・READY OFF・バッテリー電圧が正常・ブレーキアクチュエータが高温になっていない <p>条件が整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p> |  |
| <p>7.</p> | <p>学習中は</p> <ul style="list-style-type: none">・ABSウォーニングライトが高速で点滅します。・ブレーキウォーニングライトがゆっくりと点滅します。 <p>表示内容を確認後、[ENTER]を押して下さい。</p> |  |

学習が開始されると車両側の警告灯が点滅を始めます。

ブレーキ操作を行わずに約 120 秒ほど車両を静止状態にして下さい。

テスター画面上で残り時間が表示されます。

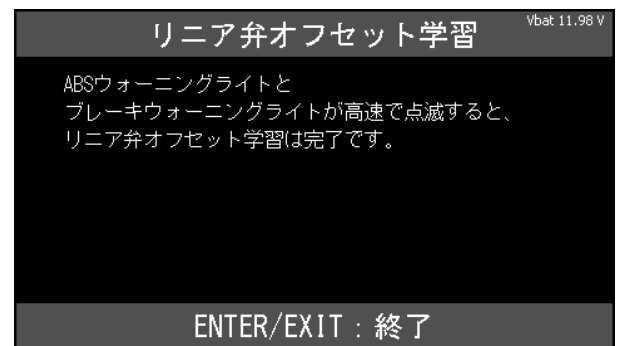


8.

ABS ウォーニングライトとブレーキウォーニングライトが高速で点滅すると、リニア弁オフセット学習は完了です。

[ENTER]を押して下さい。

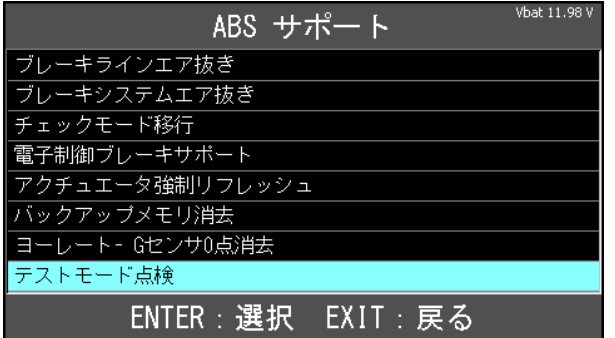
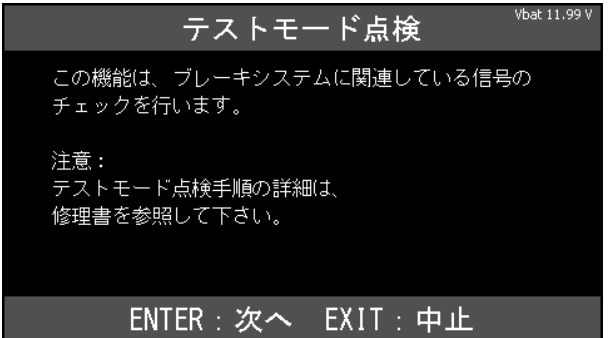
車両側の点滅パターンについては下記表を参考にして下さい。



- 補機バッテリー電圧は 10 V 以上あれば学習可能です。
- 補機バッテリーの電圧が低下すると途中で学習ができなくなる場合があります。
- 学習終了までに要する時間は、補機バッテリーの電圧により異なる場合があります。
- リニア弁オフセット学習が途中で終了した場合、ダイアグノーシスコード C1345 (リニア弁オフセット学習未実施) が出力されるため、IG OFF 後に再度学習を行います。
- ABS 保持弁学習が途中で終了した場合、ダイアグノーシスコード C1349 (保持弁学習未実施) が出力されるため、IG OFF 後に再度学習を行います。
- 学習はリニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習の順に行われ、学習中のブレーキウォーニングランプ(黄)および ABS ウォーニングランプは下表のように変化します。

| リニア弁オフセット学習の状態 | ABS 保持弁学習の状態 | ブレーキウォーニングランプ(黄) | ABS ウォーニングランプ |
|----------------|--------------|------------------|---------------|
| 学習中(未完了) | 未学習 | 1 秒周期の点滅 | 0.25 秒周期の点滅 |
| 学習完了 | 学習中(未完了) | 0.25 秒周期の点滅 | 1 秒周期の点滅 |
| | 学習完了 | 0.25 秒周期の点滅 | 0.25 秒周期の点滅 |

- ・リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習およびシステム情報記憶完了後は、ABS ウォーニングランプおよびブレーキウォーニングランプ (黄) がテストモード表示(0.25 秒周期の点滅)を行います。
- ・テストモード移行時はテストモード状態を 5 秒間保持して下さい。テストモードを 5 秒未満で終了した場合ダイアグノーシスコード U1104 が出力するおそれがあります。テストモード終了後ダイアグノーシスコード U1104 が出力した場合は、再度テストモードに移行して 5 秒間保持し、その後ダイアグノーシスコードを再確認して下さい。(プリクラッシュセーフティシステム付き車)。

| | | |
|------------|---|---|
| <p>9.</p> | <p>『ABS サポート』画面から[テストモード点検]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>ABS サポート Vbat 11.98 V</p> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキラインエア抜き ブレーキシステムエア抜き チェックモード移行 電子制御ブレーキサポート アクチュエータ強制リフレッシュ バックアップメモリ消去 ヨーレート・Gセンサ0点消去 テストモード点検 <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> |
| <p>10.</p> | <p>この機能はブレーキシステムに関連している信号のチェックを行います。</p> <p>注意： テストモード点検手順の詳細は、修理書を参照して下さい。</p> <p>表示内容を確認後、[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>テストモード点検 Vbat 11.99 V</p> <p>この機能は、ブレーキシステムに関連している信号のチェックを行います。</p> <p>注意： テストモード点検手順の詳細は、修理書を参照して下さい。</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> |

11.

点検項目の『ストロークセンサ0点学習』および『システム情報記憶』の表示が『完了』になっている事を確認し、[ENTER]を押して下さい。

| テストモード点検 | | Vbat 11.98 V |
|--------------|--|--------------|
| SPD FR出力周期 | | 未完了 |
| SPD FL出力周期 | | 未完了 |
| SPD RR出力周期 | | 未完了 |
| SPD RL出力周期 | | 未完了 |
| Gセンサ出力電圧 | | 完了 |
| システム情報記憶 | | 完了 |
| マスタ圧センサ出力 | | 未完了 |
| ストロークセンサ0点学習 | | 完了 |

ENTER/EXIT : 終了

ヨーレートセンサ&Gセンサ0点取得

手順/操作

- ・ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)を交換した場合は、“バックアップメモリ消去”実行後に、ヨーレートセンサ&Gセンサ0点取得を行って下さい。
- ・ヨーレートセンサおよびGセンサ(エアバッグコンピュータ ASSY)を交換した場合は、ヨーレートセンサ&Gセンサの0点消去後、ヨーレートセンサ&Gセンサ0点取得を行って下さい。

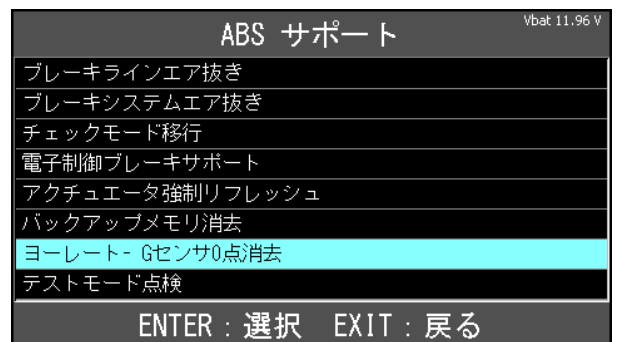
- 注意 :
- ・0点取得は必ず平坦な場所(勾配 0.25°以内)で行い、実施中は車両を揺らしたり、ドアの開け閉めなどを行わないで下さい。
 - ・アイドルリング振動を避けるため、READY ON にしないで下さい。
 - ・0点取得は規定タイヤ空気圧にて、車両が完全設置した状態で行って下さい。(リフトアップした状態およびリフトに荷重が残った状態で行わないこと。)

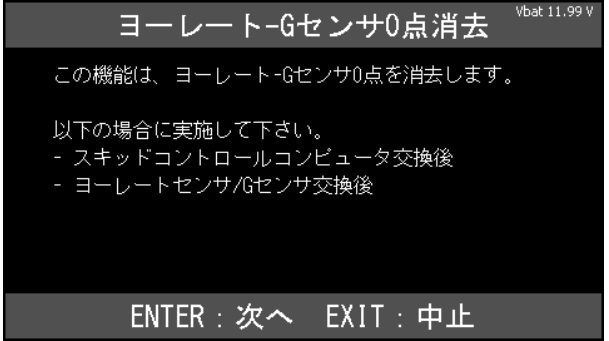
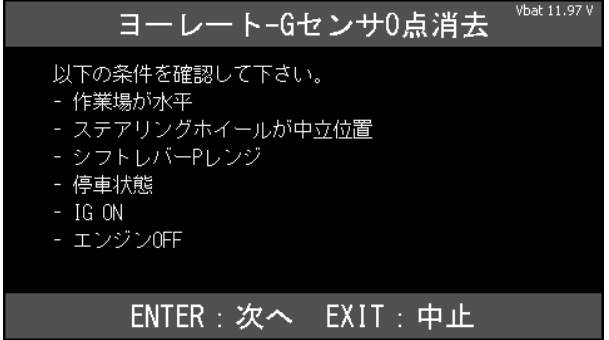
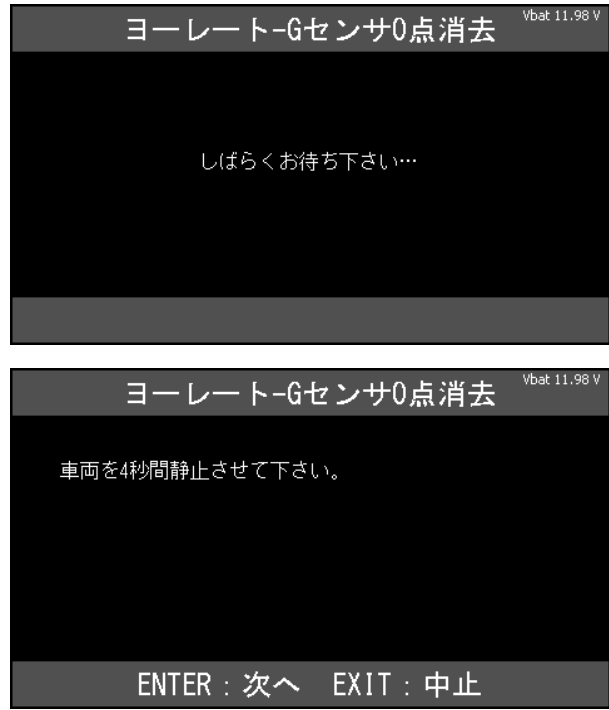
- 参考 :
- ・ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)、ブレーキペダルストロークセンサ、ブレーキペダルまたはブレーキアクチュエータ ASSY を交換した場合は、リニア弁オフセット学習、ABS 保持弁学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習およびシステム情報記憶中にヨーレートセンサ&Gセンサ0点取得を行って下さい。
 - ・チェックモード移行時、ブレーキブースタ ASSY(マスタシリンダツキ)内のスキッドコントロールコンピュータはドライビングサポートコンピュータと通信を行い、プリクラッシュセーフティシステムの搭載有無を判定しています。そのため、チェックモード移行後はチェックモード状態を5秒間保持する必要があります。(プリクラッシュセーフティシステム付き車)

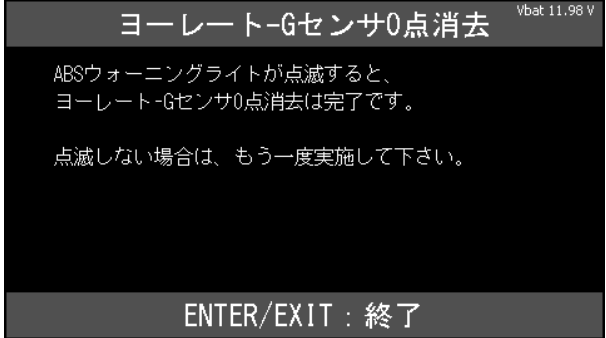
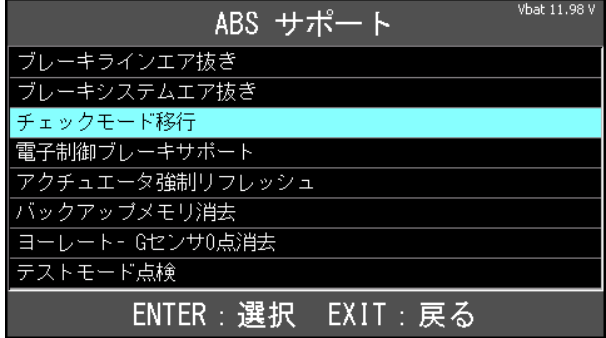
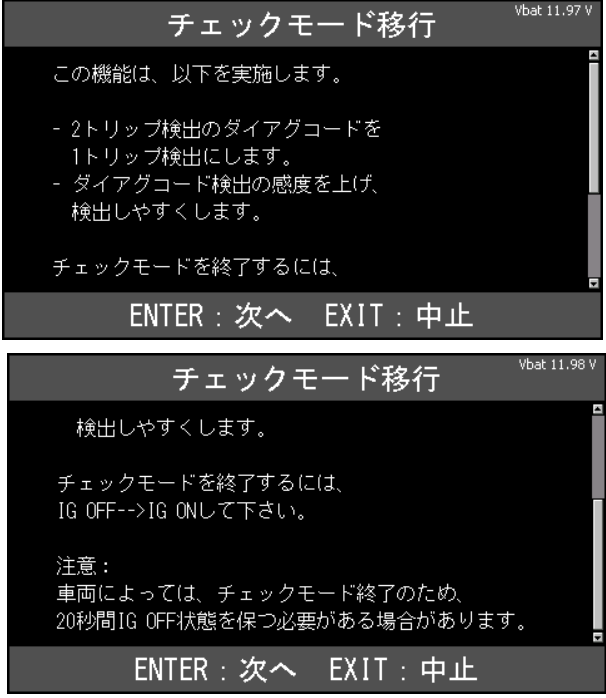
リニア弁オフセット学習値、ABS 保持弁学習値、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習値およびシステム情報記憶値消去 の1~8 迄進めて下さい。

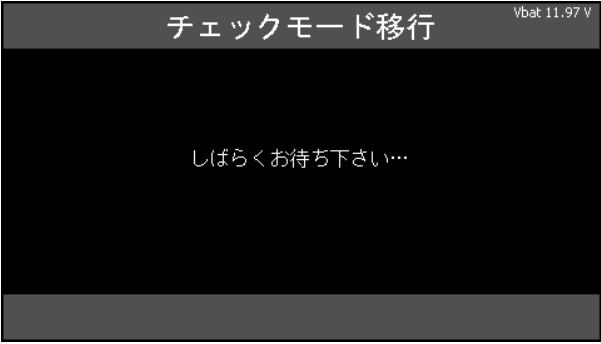


1.

『ABS サポート』画面が表示されましたら
[ヨーレート・Gセンサ0点消去]を選択して
[ENTER]を押して下さい。



| | | |
|-----------|--|---|
| <p>2.</p> | <p>この機能はヨーレート・Gセンサ0点を消去します。</p> <p>以下の場合に実施して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキッドコントロールコンピュータ交換後 ・ヨーレートセンサ/Gセンサ交換後 <p>表示内容を確認後、[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>この機能は、ヨーレート-Gセンサ0点を消去します。</p> <p>以下の場合に実施して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - スキッドコントロールコンピュータ交換後 - ヨーレートセンサ/Gセンサ交換後 <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> |
| <p>3.</p> | <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場が水平 ・ステアリングホイールが中立位置 ・シフトレバーPレンジ ・停車状態 ・IG ON ・エンジン OFF <p>条件が整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 作業場が水平 - ステアリングホイールが中立位置 - シフトレバーPレンジ - 停車状態 - IG ON - エンジンOFF <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> |
| <p>4.</p> | <p>画面に従いそのまましばらくお待ちください。</p> <p>車両を4秒間静止させ[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>しばらくお待ち下さい...</p> <p>車両を4秒間静止させて下さい。</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> |

| | | |
|-----------|---|--|
| <p>5.</p> | <p>ABS ウォーニングライトが点滅すると ヨーレート・Gセンサ0点消去は完了です。</p> <p>点滅しない場合は、もう一度実施して下さい。</p> <p>車両側の点滅を確認し[ENTER]を押して下さい。</p> |  |
| <p>6.</p> | <p>『ABS サポート』の画面が表示されましたら ヨーレート・Gセンサの0点取得のため [チェックモード移行]を選択し[ENTER]を押して 下さい。</p> |  |
| <p>7.</p> | <p>この機能は、以下を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2トリップ検出のダイアグコードを1トリップ検出にします。 ・ダイアグコード検出の感度を上げ検出しやすくします。 <p>チェックモードを終了するにはIG OFF→IG ONして下さい。</p> <p>注意 車両によっては、チェックモード終了のため20秒間IG OFF状態を保つ必要がある場合があります。</p> <p>表示内容を確認し、[ENTER]を押して下さい。</p> |  |



| | | |
|------------|---|--|
| <p>8.</p> | <p>チェックモードに移行してから 5 秒間車両静止状態を保ち、ABS ウォーニングランプ、ブレーキウォーニングランプ及びスリップインジケータールンプがテストモード表示 (0.25 秒周期) の点滅になれば作業完了です。 IG OFF にして下さい。</p> |  |
| <p>9.</p> | <p>最後に故障コードがメモリされていないか確認を行います。IG ON にして下さい。 『トヨタメインメニュー』から[診断]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p> |  |
| <p>11.</p> | <p>『システム選択』から[ABS/VSC]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p> |  |

注意:

- シフト位置 P ポジション以外でチェックモードへ移行すると、ヨーレートセンサ及び G センサの 0 点未補正異常を記憶し、ダイアグコードを出力します。
- 0 点未補正異常を記憶し、ダイアグノーシスコードを出力した場合、0 点記憶消去および 0 点取得を再度行って下さい。

参考:

- 0 点取得終了後、コンビネーションメータ ASSY 内のランプ表示はテストモード表示(0.25 秒周期の点滅)に移行します。
- テストモード移行時はテストモード状態を 5 秒間保持して下さい。テストモードを 5 秒未満で終了した場合、ダイアグノーシスコード U1104 が出力するおそれがあります。テストモード終了後ダイアグノーシスコード U1104 が出力した場合は、再度テストモードに移行して 5 秒間保持し、その後ダイアグノーシスコードを再確認して下さい。(プリクラッシュセーフティシステム付き車)。

| | | |
|-------------------|--|--|
| <p>12.</p> | <p>[故障コードの読取]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p> |  <p>The screenshot shows the 'ABS/VSC' menu with four options: '故障コードの読取' (Read Fault Codes), '故障コードの消去' (Clear Fault Codes), 'データモニタ' (Data Monitor), and 'フリーズフレーム' (Freeze Frame). The '故障コードの読取' option is highlighted. At the bottom, it says 'ENTER : 選択 EXIT : 戻る'.</p> |
| <p>13.</p> | <p>コードがメモリされていない事を確認し [EXIT]を押し『トヨタメインメニュー』まで画面を戻し IG OFF にした後、TPM-R を安全に取り外して下さい。</p> |  <p>The screenshot shows the '故障コードの読取' screen with the text '** 異常なし **' (No abnormality) in the center. At the bottom, it says 'EXIT : 戻る'.</p> |